

ウナギ、カニに歓声

木城小児童が放流体験

小丸川漁業同組合（前田和郎代表理事）は15日、木城町の高城橋下でウナギとモクズガニを放流した。木城小1年生5人が参加。歓声を上げながら放流し、環境保全の知識を深めた。

川にすむ生き物に親しんで生態系を知り、河川愛護の意識を高めてほしいと毎年実施。児童は同組合員の説明を聞いた後、ウナギ20とモクズガニ10ずつを放流した。児童の大半が養子でつがひのは初

めてで「ヌルヌルしてる」「冷たい」などと大はしゃぎ。くねくねとした動きに驚き、興奮しながら川に放した。

参加した牧草美穂さん（6）は「大きき育つてもらいたい。こまのボイラーは絶対にしない」と話していた。

同組合は、15日にも高橋町先登寺橋建設で宮田川にウナ

ギとモクズガニを放流。近くの木下小路地区住民ら約40人が参加した。同地区住民は宮田川堤防で自主的に草刈りに励んでいる。前田代表理事（6）は「河川敷に大のふんが散乱し、草刈りのときにはふんが飛び散って大変と聞いた。ふんの持ち帰りを徹底してほしい」と呼び掛いていた。

ウナギとモクズガニを放流する児童



25.7.17 宮日